

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

期末棚卸資産を印刷原価で評価している。

(3) 固定資産の減価償却について

有形固定資産の建物附属設備及び什器備品は、法人税法に定める定率法を採用している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、当財団退職給与規程に基づき、期末在職職員の期末要支給額を計上している。

3. 会計方針の変更

当期より新公益法人会計基準(平成20年)に基づき、財務諸表の様式を改めた。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産(定期預金)	73,000,000	1,000,000	0	74,000,000
小 計	73,000,000	1,000,000	0	74,000,000
特定資産				
事業積立金(定期預金、普通預金)	82,800,000	3,000,000	0	85,800,000
事務所積立金(定期預金)	32,000,000	2,000,000	0	34,000,000
テキスト積立金(定期預金)	20,000,000	0	0	20,000,000
会場設備積立金(定期預金)	12,000,000	0	0	12,000,000
退職給付引当金(定額貯金)	8,400,000	500,000	0	8,900,000
小 計	155,200,000	5,500,000	0	160,700,000
合 計	228,200,000	6,500,000	0	234,700,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産(定期預金)	74,000,000	(0)	(74,000,000)	(0)
小 計	74,000,000	(0)	(74,000,000)	(0)
特定資産				
事業積立金(定期預金、普通預金)	85,800,000	(0)	(85,800,000)	(0)
事務所積立金(定期預金)	34,000,000	(0)	(34,000,000)	(0)
テキスト積立金(定期預金)	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
会場設備積立金(定期預金)	12,000,000	(0)	(12,000,000)	(0)
退職給付引当金(定額貯金)	8,900,000	(0)	(0)	(8,900,000)
小 計	160,700,000	(0)	(151,800,000)	(8,900,000)
合 計	234,700,000	(0)	(225,800,000)	(8,900,000)

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品(デジタル複写機(印刷機)等)	1,425,165	1,353,907	71,258
(カラーコピー機)	551,250	523,688	27,562
什器備品(組込耐火金庫)	308,490	302,321	6,169
合 計	2,284,905	2,179,916	104,989